

若者の就職支援～高知県で働く・住むを目指して～

渡邊 桂子

高知県立図書館（オーテピア高知図書館）

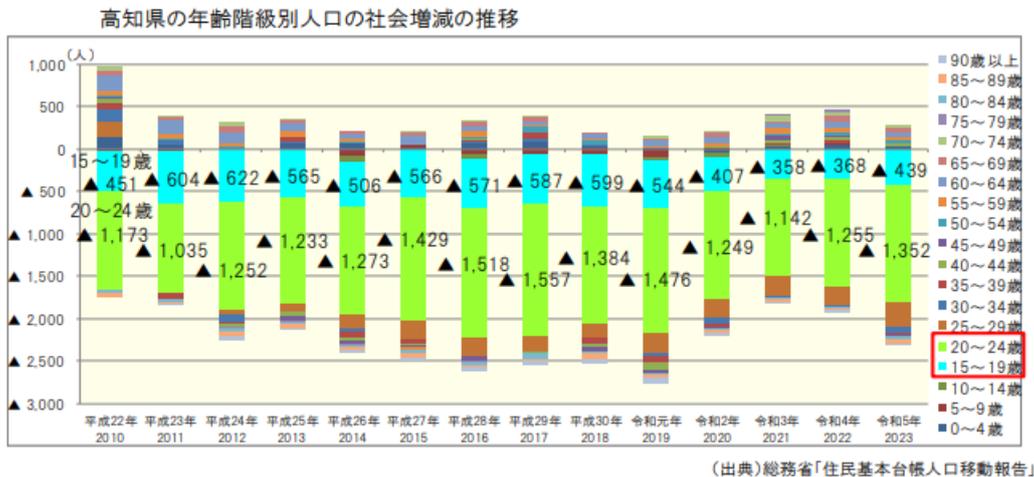
1 はじめに

私はビジネスライブラリアン講習を受講し、多くのことを学んだ。これまでビジネス支援を担当したことがない私には未知の世界の講習だったが、講習を通じ、ビジネス支援とは、地域の課題解決を支援することだと思った。起業や事業拡大といったことに限らず、地域の活性化を目指して活動する人々を支援するための図書館サービスであり、この講習でその考え方や技術などを学ぶことができた。修了レポートとして、地元高知を取り巻く課題に向き合い、学んだことを基に事業計画を考えた。

2 事業の背景

2. 1 高知県の課題と就職支援事業

高知県は、全国より先行して少子高齢化が進むなど、多くの課題を抱えている。なかでも、若年層の人口減少は大きな課題である。15歳から24歳の年齢では、高知県外への転出超過が続いており、その原因として、高等学校や大学等を卒業して、進学や就職をする際に県外へ転出する影響が大きいと考えられている。



高知県が策定している「高知県元気な未来創造戦略」(令和6(2024)年3月28日決定)のなかでも、若者の流出を抑えることを取り組みのひとつに掲げている¹。この戦略のなかでは、若者の定着・増加に向けて、「地産外商により魅力のある仕事をつくる」「新しい人の流れをつくる」を基本目標としている。

そして、現在、高知県は、若者の就職支援として、次のような事業を行っている。

- 1) ジョブカフェこうち「ハローワーク高知若者相談コーナー」²
応募書類の作成アドバイスやセミナーなどを開催している
- 2) 高知県大学生等就職支援事業³
高知県外在住の学生や既卒者が高知県内での就職活動を行う際の、交通費や宿泊費を助成する
- 3) こうち奨学金返還支援事業⁴
大学等の在学中に奨学金の貸与を受けていて、卒業後に高知県内において就業する人に対し、奨学金の返還を支援する

2. 2 オーテピア高知図書館について

オーテピア高知図書館は、高知市内中心部にあり、周辺に大学や高校が多くある。そのため、高校生や大学生の登録や利用も少なくない。学校の授業で図書館を利用する場合もある。そんな学校での利用の際や、本を借りるとき、自習や調べものなどでオーテピア高知図書館を利用するときに、そこで行われている展示にも目が向くだろう。図書館であれば、学生に限らず、親世代など幅広い利用者に情報を届けることができるため、オーテピア高知図書館で、若者への就職支援事業をする意義はあると考える。

3 事業概要

3. 1 概要

高知県内に就職、定住する若者を増やすための事業を考えた。「高知県元気な未来創造戦略」では、「魅力のある仕事をつくる」と謳っているが、一朝一夕に実現できるものではない。そこで、本事業では、高知県内に今ある企業の魅力を紹介することで、高知県内で働く・住むを実現させたい。

高知県内の企業の紹介のほか、図書館が若者をサポートできる事業を考えた。

また、高知県が取り組んでいる就職支援について紹介することにより、行政のサポートを知って、就職先として高知県を考えるきっかけとなるよう事業を計画した。高知県が行っている就職支援は、学生たち自身が相談や申請をして利用できる支援である。そこで、本事業は、こちらから若者たちに働きかけることにより、高知県での就職に興味をもってもらえるものとする。

3. 2 目的と効果

高知県に縁のある若者が、就職先として高知県を選ぶことを目的とする。高知県に就職し、定住することにより、高知県内の若年人口の増加をねらう。その結果として、高知県内の人口増加につながることを期待したい。

本事業では、若者に、就活セミナーとは違った視点で、今ある高知県内の企業について知

ってもらうことができるほか、高知県で行われている就職支援の取り組みを知ること、活用を促すことができると考えている。高知県が行っている助成金などを活用し、高知県内で就職活動を行うことに結びつけたい。

高知県が行った令和6（2024）年度就職・進学希望地等意識調査⁵では、回答数は少ないものの、県外在住の大学生の約53%が高知県内への就職を希望している。本事業を行うことにより、県外在住大学生の県内就職希望増加率3%上昇を目指したい。

3.3 対象

事業対象者は、就職について考え始める、高校生から大学3年生とする。高知県在住者に限らず、高知県外の高校や大学に通っている高知県出身の学生も対象とし、高知県に縁のある学生たちに働きかけを行う。

4 事業計画

4.1 図書展示「高知県で働く・住む」

まずは、図書館内で「高知県で働く・住む」と題した図書展示を行う。内容は、一般的に就職や起業を考える本のほか、高知県の企業を紹介する本を展示する。併せて、行政が行っている就職サポートのチラシやパネルを設置する。また、展示する本のブックリストを作成し、当館のウェブ・サイトに掲載するほか、図書展示のチラシと併せて、高知県内の高校、大学へも配布する。図書館に就職や起業に関する本があることを紹介することで、就職を考えている若者に対し、就活の情報が図書館で手に入ることを知り、関心を持ってもらうことができると思う。

また、当館では、こうち若者サポートステーションと連携して、毎月「若者サポートステーション進路相談会」を開催しており⁶、図書展示もこの相談会に合わせて開催する。展示場所は相談会を行っているグループ室に近いスペースを用意し、1年を通して資料を入れ替えながら展示を行う。展示場所に、相談会のチラシを配置し、相談会場にはブックリストを置く。図書展示と相談会を連携させることで、相乗効果をねらう。

加えて、展示場所で現在の高知県の様子や高知県の魅力を紹介する映像も流し、高知県に住みたい気持ちになってもらえるよう工夫する。先に挙げた高知県の令和6（2024）年度就職・進学希望地等意識調査では、調査対象となっている県内高校生、県内専修学校生、県内大学生等、県外大学生等とともに高知県内で就職を希望する理由として「住み慣れた地域にいたいから」「住んでいる地域が好きだから」が上位となっている。そこで、高知県で働きたい、高知県に住みたいという思いをより強くしてもらえるよう、高知県の魅力となる歴史・食などの文化、豊かな自然を紹介する動画を展示場所に設置したモニターで流す。併せて、高知県について知る本や高知県内で行われているイベントチラシ等も配置する。

令和6（2024）年度就職・進学希望地等意識調査のなかで、県外大学生等の高知県内で

就職を希望する理由の1位は「地域に貢献したいから」61.1%となっている。そこで、展示場所で流す動画には、今の高知県の紹介も盛り込む。高知県の課題についても知ってもらい、学生の持つ「地域に貢献したい」という思いに働きかけることができるよう、高知県の現状や各自治体の戦略について知ることができる各市町村の広報紙なども手に取れるようにする。

4. 2 SDGsに取り組む企業の紹介パネル展示「こうちSDGs推進企業」

若者が就職を考える際には、その企業がSDGsに取り組んでいるかどうか判断材料となるようだ。日本総研の調査では、約44%の学生が環境問題や社会問題に取り組んでいる企業で働く意欲があると回答している⁸。高知県でもSDGsに取り組む会社を紹介する「こうちSDGs推進企業ポータルサイト」⁹があるため、こちらと連携し、高知県内のSDGsに取り組む企業を紹介するパネルを作り、展示する。高知県内でSDGsに取り組んでいる企業を紹介することで、これまで知らなかった高知県内の企業の魅力を知ってもらうことができ、就職を考える機会となる。

そして、図書館で行うことによって、多くの利用者の目に留まり、企業のイメージアップにもつながると考える。「こうちSDGs推進企業ポータルサイト」には500を超える企業の登録があるため、その中から新規採用を考えている企業を中心にパネルを作成する。また、紹介する企業にはショート動画を作ってもらい、展示場所で放映する。

併せて、SDGsの取り組みを紹介する本を展示し、展示資料のブックリストも配布する。

「こうちSDGs推進企業ポータルサイト」では、登録企業を学生が取材・紹介する『こうちSDGsガイドブック～学生×SDGs×企業～』¹⁰を毎年作成している。このガイドブックは、企業経営者・SDGs推進アドバイザー・学生の対談があるなど、実際に就職を考える学生にとって参考となる具体的な内容だ。そこで、パネル展と併せて、当館所蔵の『こうちSDGsガイドブック』を展示するほか、電子書籍で読めるQRコードを掲示する。そして、ガイドブックで取り上げられている企業の紹介を展示場所で行う。こちらは、新規採用を検討している企業紹介パネルと区別をするため、紹介記事とともにガイドブック横に配置する。

さらに、この事業については、高知県内の高校図書室や大学図書館と連携し、パネルとブックリストの巡回展示を行う。巡回展示を行うことで、オーテピア高知図書館に来館しづらい学生たちにも、企業の取り組みを知ってもらうことができる。『こうちSDGsガイドブック』に登場する大学生の在籍する大学などを中心に巡回し、巡回先で1か月の展示を行うこととし、年間で8か所を巡回する。

5 事業の周知

事業を行うにあたっては、対象者に事業を知ってもらう必要がある。そこで、広報が重要となってくるが、高校生や大学生に情報を届けるためには、チラシやウェブ・サイトだけで

は十分でないと考える。そこで、SNS を積極的に活用したい。当館では展示情報は展示ごとに X で投稿するため、図書展示「高知県で働く・住む」、SDGs に取り組む企業の紹介パネル展示「こうち SDGs 推進企業」は X で投稿する。加えて、Instagram を活用し広報を行う。Instagram では、展示の様子を写真で紹介するほか、リール、ストーリーも活用し、動画での広報も行う。使用する動画は、展示や企業を紹介するもののほか、高知県の魅力を伝える動画も織り交ぜ、高知県の魅力と就職を結びつけるようなショート動画とする。

その他、関係機関の広報ツールも活用し、対象者に事業の情報を届ける。ハローワークや連携する県庁各課と協同で行い、高知県内への就職を考えている学生たちに届くよう工夫する。特に、高知県外に在住の学生には、学生向けの「高知求人ネット」¹² を活用し、イベント紹介を行う。そこから当館のウェブ・サイトや SNS へもリンクを貼り、動画へと誘導する。

6 おわりに

この事業案を考えるにあたり、ビジネスライブラリアン講習会の講義で学んだこと、ワークショップのグループワークで出た意見や指摘などを思い出し、作成した。具体的な事業や対象を想像することで、どうすればより良い事業となるのか、どうすればこの事業が対象者に届くのか、などを考えることができた。今後、図書館で担当するサービスの事業案を考える際にも役立つ経験となった。

最後に、一緒にグループワークを行った 1 班のみなさん、様々な視点からのアドバイスをくださった、山崎先生、三田先生に感謝を申し上げたい。

参考資料

1. 高知県庁. 「高知県元気な未来創造戦略」(令和 6 年 3 月 28 日決定) 高知県. 2024
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024040400130/>
2. ジョブカフェこうち. ハローワーク高知若者相談コーナー.
<https://www.jobcafe-kochi.jp/hellowork/>
3. 高知県庁. 高知県大学生等就職支援事業(交通費等助成)のご案内. 高知県. 2024
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024052700167/>
4. 高知県庁. こうち奨学金返還支援事業について. 高知県. 2024
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024031400644/>
5. 高知県庁. 就職・進学希望地意識調査について「令和 6 年度就職・進学の希望地等意識調査(高知県地方人口ビジョン等基礎調査)」. 高知県. 2025
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/shushoku-singaku-cyosa/>
6. オーテピア高知図書館. 「若者サポートステーション進路相談会」. オーテピア高知図書館. 2025

<https://otepia.kochi.jp/library/event.cgi?id=20231129145143ak7kcc>

7. こうち・なんこく若者サポートステーション

<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/saposute/>

8. 日本総研. 「2022 若者の意識調査」レポートのレポートを発表. 2023

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=105899>

9. こうち SDG s 推進企業ポータルサイト

<https://kochi-sdgs.pref.kochi.lg.jp/>

10. こうち SDG s 推進企業ポータルサイト. こうち SDG s ガイドブック 2024～学生×SDG s ×
企業～の作成について

<https://kochi-sdgs.pref.kochi.lg.jp/news/1594>

11. [高知県産業振興推進部計画推進課/編] 『こうち SDG s ガイドブック 学生×SDG s ×
企業 2023 (令和 5 年)』 [高知県産業振興推進部計画推進課] [2023. 11]

12. 高知求人ネット. 学生向けサイト

<https://kochi-student-job.jp/>

13. マイナビ. 2025 年卒大学生 U ターン・地元就職に関する調査. マイナビ. 2024

https://career-research.mynavi.jp/research/20240509_75888/